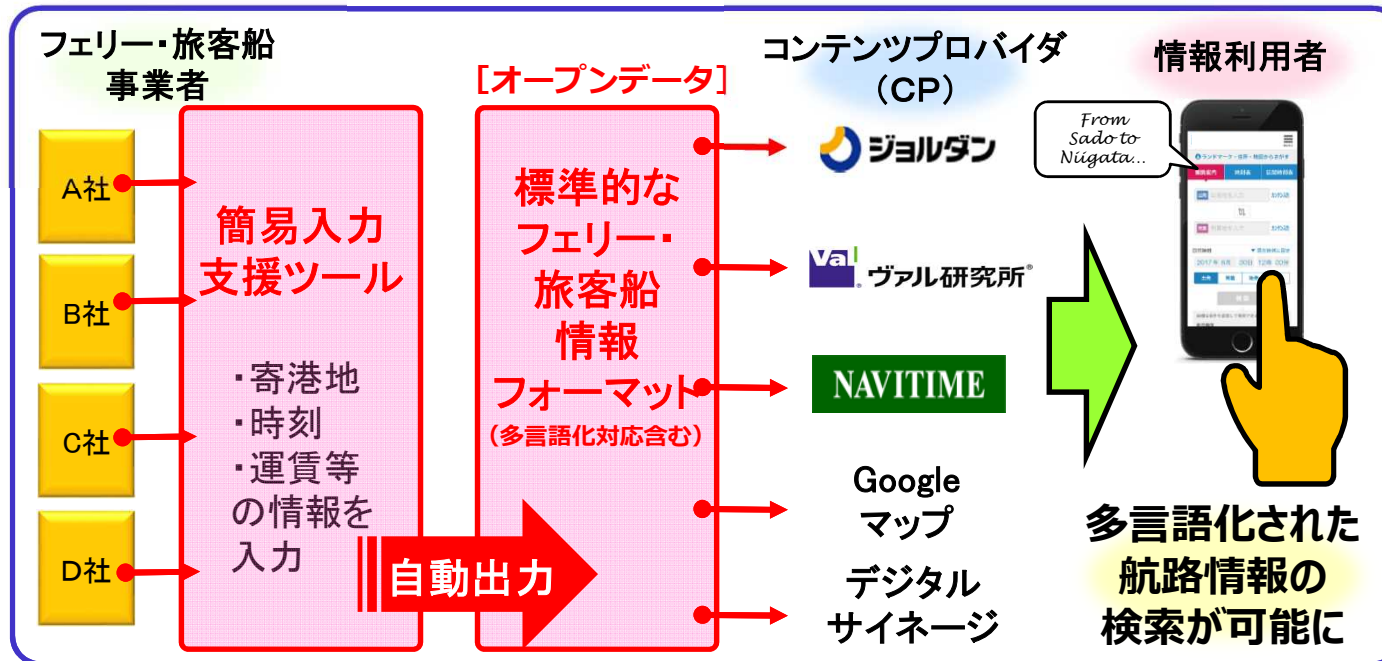


航路情報のオープンデータ化

- 「標準的なフェリー・旅客船情報フォーマット」、「簡易入力支援ツール」及び「ガイドライン」を作成。
- 同フォーマットには、寄港地、時刻及び運賃等、航路の基本的なデータ項目が含まれ、事業者がより簡便に交通検索事業者等への情報提供及びコンテンツプロバイダ(CP)への掲載等を行うことが可能。
- エクセルの「支援ツール」に必要な項目を入力するだけで「情報フォーマット」が出力され、事業者自身による入力負荷が相当に軽減。
- 北米や欧州で広く普及するフォーマット(GTFS※)と互換性を確保。



※GTFS(General Transit Feed Specification)
 ・公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通形式を定義したもの。
 ・当初はGoogle社向けのフォーマットとして作成されていたが、現在はオープン化され、誰もが使用できるものとなっている。
 ・零細事業者の利用も視野に、表計算ソフトでの閲覧が容易なCSV形式を採用し、仕様がオープン化されているため、北米・欧州を中心に海外で幅広く利用されている。

<フェリー・旅客船事業者のメリット>

- ◆ 複数の検索サイトによる情報提供により、航路情報の入手が可能に。多言語データ入力にも対応しており、**インバウンド等の利用増が期待**。
 - ◆ 既存のコンテンツやプラットフォームと連携することにより、観光情報等の他情報との連携など、**付加価値の高い情報提供の拡大が期待**。
- 航路情報の共有化が図られ、自治体の交通・観光関係施策や「MaaS」のサービスに利用が可能。